

おおもり



平成31年3月7日

東根市立大森小学校
学校だより81号

心温かくなる「ありがとう」の言葉の力

温かな雰囲気の中 6年生を送る会

2月22日（金）、全校児童による児童会主催「6年生を送る会」が開催されました。6年生が堂々と入場し、各学年から6年生との思い出や感謝の呼びかけ、歌やダンス、寸劇などが披露され在校生の心のこもった演出に、笑顔いっぱいの温かな会となりました。

次期リーダーとなる5年生から6年生一人ひとりに向けて「感謝のメッセージ」を伝える場面では、6年生一人ひとりが、それを丁寧に受け取り、堂々とした態度でした。時にユーモアも交じる6年生の姿に、一人ひとりの心の成長を垣間見ることができました。

日本語で一番美しい言葉「ありがとう」

「ありがとう」の言葉が飛び交う空間は『笑顔』にあふれ、温かな空気が流れます。「ありがとう」という言葉を、言われて悪い気分になる人はいません。また、「ありがとう」の言葉は、他人だけでなく、それを発した自分の体にも心地よい気分をもたらしてくれるといわれます。また、「ありがとう」という言葉を日常的に使用することで、優しさや感謝の気持ちが育まれ、自分を取り巻く人との関係も良好になったりもします。

普段何気なく使っている「ありがとう」という言葉は、まさに、人のありがたみに気づける「魔法の言葉」とも言えると感じます。



学校生活でもたくさんの「ありがとう」

学校での生活は、自学自習はもちろんですが、仲間と助け合い、声掛け合って課題を乗り越えていく活動も数多くあり、特に本校の場合は、縦割り班（1～6年生までの仲良し班構成）活動が活発なので、それぞれの学年に関係なく、お互いに「ありがとう」が伝え合える素敵な環境があるのだと思います。

今、人と人との関わりが希薄になってきている時代だからこそ、「実体験や人とのかかわりから生まれる感謝の思い」を大切にしていきたいですね。

3月18日（月） 第8回目卒業証書授与式

卒業証書授与式でも、1年生から5年生までの在校生611名が6年生（112名）とのこれまでのかかわりを思い浮かべながら、参加してくれるものと思います。きっと、今回の6年生を送る会以上の感謝の気持ちのあふれる温かな式典を作り上げてくれることでしょう。

*最後になりますが、保護者の皆様、そして地域の皆様には、この1年たくさんのお力添えをいただきました。おかげさまで、子どもたち一人ひとりの確かな成長を実感できました。これもひとえに、皆様方のご理解とご協力によるものと心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

来る平成31年度（新元号元年度）も、共育・協育の精神を大切に、子どもたち一人ひとりの育ちを目指していきたいと思っておりますので、引き続き、ご支援いただけますようどうかよろしくお願いいたします。

（校長 土屋 常 義）